

ふじ書楽グループ 通信 No.2



グループリーダー
坪井 工鷹 先生

みなさん、こんにちは。
グループ通信「創刊号」は見ただけでしたか？
この通信でこれから少しずつ、グループのことをお知らせしていきます。
そして、みなさんと共に歩んでいけたらと思います。

まずは、坪井工鷹先生に自己紹介をしていただきます。

私は小学1年から習字を始めました。安田古城先生に6年間、中学3年間は貝原司研先生に教わりました。安田先生は小学校の先生で校長を務められ、のち安田女子大学の教授になられました。「小学校書写」の教科書を書かれ、日本で指折り数えるような硬筆のスペシャリストです。貝原先生は県立高校の書道の先生で、日本最大の毎日書道展で全国最年少グランプリを受賞された「前衛書道」の大家です。そんな恵まれた環境の中での9年間でした。

野球少年でもあった私は習字と野球が大好きになりました。書道展に出品して表彰されたりもありましたが、小学校6年生の時ピッチャーで4番で出場した学童野球の広島県大会で優勝したことが今も鮮明に記憶に残っています。新設だった中学では初めて県大会出場を果たしました。高校受験を控え「やっぱり野球で！」との思いから、名門広島商業高校へ進学し高校野球に熱中することになりました。厳しい練習の毎日です。甲子園での「全国制覇」を目指し、習字どころではありませんでした。

高校3年の夏、甲子園に出場しましたが3回戦敗退。同級生たちは野球での進路を決めていく中で悩みました。ただ野球での進学はしないということだけで、何も決まらない。そんな時、通学の電車の中で国語の先生から「君はテストの答案の字が大変綺麗だが、書道の大学に進む気はないか。」と声をかけられ、光が見えました。その大学（大東文化大学）のOBであり、その先生の知り合いでもあった貝原先生に再び教わることになりました。このような経験をし、不思議なご縁にも恵まれ、私の本格的な『書道人生』がスタートしました。

その後のことは「坪井工鷹のホームページ」や「広島インターネット美術館」に掲載されていますので、ご覧になってみてください。

グループに所属する教室の一覧

教室名	指導者	実施曜日	教室名	指導者	実施曜日
比治山教室	坪井先生	月曜	緑井教室	河内先生	水・金・土曜
皆実町教室	漆本先生	月曜	牛田教室	鯉迫先生	金・土曜
藤の木教室	坪井先生	火・水曜	廿日市平良教室	坪井先生	金曜
廿日市阿品教室	漆本先生	水・金曜	本川教室	坪井先生	土曜
五日市中央教室	坪井先生	木曜			

本グループの事業のひとつ『広島県美術展出品のための練習会』が4月19日、26日、29日、5月6日の4日間休日を使って行われました。180cm×60cmの大きな紙にそれぞれ個性あふれる作品を何枚も何枚も練習していきます。今年は6名がチャレンジしました。厳しい審査の後、入選作品が決まり展示されます。みなさんも是非とも会場に足を運んでみてください。

また、来年はさらに出品する仲間が増えていくことを願っています。高校生以上から出品可能です。まずは、お気軽に見学に来てみてください。

第3回新県美展（第67回広島県美術展）

会場：広島県立美術館

会期：平成27年6月20日（土）～7月5日（日） ※会期中無休

廿日市市の集会所を借りての練習会風景です。



林直す坪井先生の手本を書き



「童謡七つの子」を題材に取り組む木脇さん。



坪井先生に挑戦する河内さん。



隷書体の作品にチャレンジする鯉迫さん。

発行 平成27年5月
広報担当